

社会福祉法人大東福祉会 平成22年度 事業報告

決算報告

★ 貸借対照表

資産の部		負債の部	
流動資産		流動負債	
現金・預金	339,632,687	短期運営資金借入金	
未収金	187,475,299	その他の流動負債	36,409,983
その他の流動資産	1,674,851	固定負債	
固定資産		設備資金借入金	814,883,210
基本財産 建物	2,279,521,015	退職給与引当金	18,727,635
土地	225,762,104	その他の固定負債	
その他の固定資産	748,803,007	負債の部合計	
			870,020,828
		純資産の部	
		基本金	36,770,181
		国庫補助金等特別積立金	1,400,000,971
		その他の積立金	606,600,000
		次期繰越活動収支差額	869,476,983
		(うち当期活動収支差額)	114,030,616
		純資産の部合計	
			2,912,848,135
資産の部合計		負債及び純資産の部合計	
3,782,868,963		3,782,868,963	

★ 事業活動収支計算書

事業活動収支の部		事業活動外収支の部	
介護保険収入	1,074,985,168	事業活動外収入計④	29,315,587
運営費収入	271,278,230	事業活動外支出計⑤	27,604,827
事業収入	19,500,000	事業活動外収支差額⑥(④-⑤)	1,710,760
国庫補助金等特別積立金取崩額	70,999,766	経常収支差額⑦(③+⑥)	114,097,473
その他の事業活動収入	144,678,164	特別収支の部	
事業活動収入計①	1,581,441,328	特別収入計⑧	69,055,120
人件費支出	1,015,558,285	特別支出計⑨	69,121,977
事務費及び事業費	325,493,178	特別収支差額⑩(⑧-⑨)	-66,857
利用者負担軽減額	6,432,828	当期活動収支差額⑪(⑦+⑩)	114,030,616
減価償却費	118,617,124	繰越活動収支差額の部	
その他の事業活動支出	2,953,200	前期繰越活動収支差額⑫	774,346,367
事業活動支出計②	1,469,054,615	当期末繰越活動収支差額⑬(⑪+⑫)	888,376,983
事業活動収支差額③(①-②)	112,386,713	その他の積立金取崩額	0
		その他の積立金積立額	18,900,000
		次期繰越活動収支差額⑭	869,476,983

事業毎の総括

保育園事業において、子どもを取り巻く社会情勢の変化に加え、保育制度の大きな改革である新システムが打ち出される中、保育士は日々研鑽し、子どもたちの健やかな育ちを支えるため、養護と教育が一体となった保育を実践してきた。また、多様な保育ニーズへの対応、気になる子や育児不安を抱える保護者の支援等、専門職としての責務を果たしてきた。地域交流としては、未就園児家庭への園庭開放や、近隣の幼稚園、小学校、地域のお年寄りとの交流等、様々な人とのふれあいを通し、豊かな心や思いやりの気持ちを育ててきた。更に地域の子育て支援として、子育て支援センター事業、一時預かり事業も実施した。

老人福祉事業では、職員教育の充実と利用者処遇の質の向上として、各施設での研修の充実はもちろん、各部署単位での研修にも力を入れた。併せて、介護福祉士受験に向けた研修を行い、介護福祉士の所持者を増やすことができ、結果として質の高い介護のできる職場づくりとなった。また、日本財団車両助成の申請を行い、平成7年から利用していたマイクロバス入れ替えを行い、ハード面での質向上も行った。次に働きやすい職場づくりとして、介護労働者設備等整備モデル奨励金を活用し、新しいベッドの導入、腰痛予防に関する研修を行い、職員の腰痛負担の軽減を図った。

苦情解決結果について

城東保育園

■受付日 平成22年8月26日

申出人 2歳児保護者

内容 プール参観日、9時のおやつを参観していた母親が、牛乳を飲み終わったコップを水洗いしてから麦茶を飲ませているのを見て、感染症の心配はないかと気にし、連絡ノートに書いてきた。

結果 おやつのお時間内に、牛乳を飲んだコップをクラス内において洗剤で洗ったり、給食室まで持っていく洗浄機で洗ったりが出来ない。しかし、最後口ゆすぎの為に麦茶を飲ませたいので、コップを購入し、未満児用にコップを1人2個用意するようにした。その旨を保護者にも知らせた。

大坂保育園

■受付日 平成22年4月26日

申出人 3歳児保護者

内容 3歳児の昇降口前の園庭は水はけが悪く、雨天は水溜りになってしまい、送迎時に不便をかけていた。その件で保護者の方から環境整備をするように依頼があった。

結果 暗渠排水工事をただちに施工した。以前から水はけが悪かったため、対応をしたいと考えていたが、指摘される前に早めの環境整備をすべきであったと反省した。迷惑をかけたこと、工事を施工したことを園便りで保護者に知らせお詫びした。

■受付日 平成22年12月20日

申出人 2歳児外国人の保護者

内容 母親の仕事が派遣のため勤務地が日々変更する。子どもの緊急時ですぐ連絡が取れるよう毎日、連絡先を確認したことが母親の気に障り、訴えがあった。

結果 緊急時に連絡先がわからないのは困るため職員が確認したことを話し、母親に気分を害したことをお詫びした。連絡は母親の携帯電話にするので、必ず出てほしいと依頼した。

千浜保育園

■受付日 平成23年1月28日

申出人 2歳児保護者

内容 園児が保育中に発熱したため、保護者に連絡して迎えに来てもらったが、自宅に帰ってからは元気で熱もなかったとのこと。今後、発熱した場合、少し時間をおいて再度計って欲しいとのこと。

結果 園児が発熱した場合、1回の計測後、時間をおいて別の体温計で再度計測し、確実に熱がある場合は保護者に連絡するが、園児の体調や保護者の仕事の都合にも配慮するようにした。

大東苑

■受付日 平成22年7月10日

申出人 特養利用者ご家族

内容 家族が面会に行くといつも同じ衣類を着ている。誰か面会に来てくれた人が見て、「家族は何をしているのか」と思われると辛い。毎日、着替えをしてくれているのか心配だ。また、衣類は新しい物をタンスに入れておいたのに、場所が変わったら所在が分からなくなってしまった。職員には説明しておいたのに、どのように対応しているのか把握できない。

結果 衣類の着替えは交互に行っている。面会と着替えのローテーションが一致してしまった。今後は、衣類を順次取り変えていくようにする。また、衣服の保管・整理はロッカー、タンス、ダンボール箱に分けて保管している。季節によって場所も変わるため、確認できなかった。職員は承知していても、大東苑に保管等を任せている家族には確認しにくい状況である。職員間の連携、家族との連絡調整など徹底を図る。

■受付日 平成22年8月5日

申出人 ショート利用者ご家族

内容 ショート利用の当日、事前の説明通りに薬を準備していったが、違うと言われた。言われた通りやっていて、指摘されることに疑問を感じる。次は何を言われるのかと思うと行きたくないと思ってしまう。

結果 契約時に配付する薬の準備方法の書面を見直し、解りにくい表現を訂正する。書面と口頭では伝わりにくいいため、見本を準備し、どのように準備してほしいか解りやすくする。言葉使いについても相手によって解釈も異なるため、誰に対しても誤解のないように注意する。

■受付日 平成22年8月16日

申出人 デイサービス利用者ご家族

内容 週2回の利用者から週3回利用の希望が出ていた。金曜日に空きができたので、利用できることを本人に直接伝えた。同居の家族から、本来なら本人に伝える前に家族に伝えるべきではないかと言われた。また、3回目の利用日は希望した曜日とは違うとも言われた。

結果 家族に連絡せず、本人に伝えたことをお詫びする。家族は、連絡の手順が間違っていることに不信感を持った。利用回数の増減等については、最初に家族へ連絡するとともに、利用者から要望されても、家族と相談することを伝えるなど、親切かつ慎重な配慮が必要である。

くにやす苑

■受付日 平成22年5月13日

申出人 特養ご家族

内容 ご家族の面会時、入居者本人様の爪の中に便が付着していた。ご家族より「指についているのは、食事をするので気になる。指を確認してもらおうとありがたい」ご指摘を受ける。

結果 ご家族に謝罪し、排泄後の手洗い・食前の手ふきの徹底をリーダー会議・ユニット会議で確認する。

■受付日 平成22年11月14日

申出人 特養ご家族

内容 救急搬送後、ご家族の方がくにやす苑に電話連絡するも、電話にでない。何回ならしてもつながらない。急な用事の時に困るので、代表の電話以外につながる電話を教えてください。

結果 事務所内の電話切り替えが夜間及び土日にもかかわらず、平日昼間の設定になっていたため、事務所のみでしか電話が鳴らなかった。ご家族に謝罪し、事務所内での確認表を作成し、指さし確認をする事。宿直者も切り替えがされているか二重にチェックする。又、ユニット内直通の携帯電話を番号の提示もすることにし、必ず連絡がとれるような体制をとる。

■受付日 平成23年2月22日

申出人 特養ご家族

内容 昨年、介護度3から4に変更になったが知らなかった。担当者会議を毎年1回することになっているが、昨年は記憶にない。昨年はケアプランをもらっていない。

結果 介護度変更をご家族への連絡が遅くなったことを謝罪。介護度が変更、担当者会議等も開催に漏れがないか確認する。